

山村(佐藤月二; 1932. XI. 28)。11. 廣島縣嚴島彌山(佐藤月二; 1932. X. 31)。12. 四國劍山(藤川福二郎; 1934. VIII. 20)。13. 愛媛縣石槌山(藤川福三郎; 1933. VIII. 26)。14. 高知縣筒城山(吉永虎馬; 1929. VII. 19)。15. 鹿兒島縣尾久島(藤川福二郎; 1933. VII. 25)。16. 朝鮮金剛山(朝比奈泰彥 1934. VII. 22)

ナホ藤川氏ヨリノ通信ニヨレバ、同氏ハ昭和六年八月中旬高知縣ノ白髮山ト工石山デモ本種ヲ採集シタガ營林署トノ連絡ノ手違カラ標本ヲ所有シテハ居ナイガ確ニ採集シタ由デアル。

Phylliscum microphyllum ASAHINA (○印)ノ產地

1. 茨城縣筑波山女體頂上附近(山本篤; 1927. IX. 24)。2. 千葉縣鋸山(藤川福二郎; 1932. III. 31)。

高山地衣ノ一種 *Umbilicaria pustulata*

HOFFM. ニ就イテ

佐 藤 月 二

Tsukuni SATÔ: On the *Umbilicaria pustulata* HOFFM.

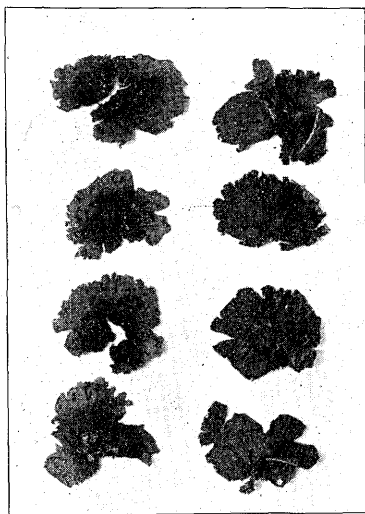


Fig. 1. *U. pustulata* HOFFM.
金剛山産 (1/2)

本地衣ガ本邦ニ産スルコトハ、昭和6年、朝比奈教授ニヨリ本誌第7卷第4號ニ述ベラレタノガ最初デ、ソレニヨルト、大正14年臺灣阿里山頂デ、朝比奈教授自ラ發見採集サレタ無子器ノモノヲ初メトシ、次デ吉永虎馬氏ニヨリ四國筒城山(1859 m)ノ無子器標本、更ニ昭和5年前原勘次郎氏ノ阿里山ニ於ケル有子器標本ノ採集ガアル。以上3回ニ互リ2ヶ所ノ產地ガ明カニサレタガ、其後本邦ノ地衣熱ガ高マリツ、アルニモ關ラズ、其後ノ產地ガ追加サレナイ。筆者ハ昭和11年10月朝鮮金剛山奥萬物相ニ於テ山頂ノ花崗岩上ニ生育セル *Umbilicaria* ヲ採集、歸校後、前記朝比奈教授ノ論文ト對照シテ、恐ラク *U. pustulata* HOFFM.

ナラント思ツタガ、尙念ノ爲朝比奈教授ニ一部ヲ送附シテ同定ヲお願いシタル處、同教授ヨリ *U. pustulata* HOFFM. ニ間違ヒナキ旨、御丁寧ナル教示ヲ戴イタ。此ノ機會ニ朝比奈先生ニ厚ク感謝ノ意ヲ表スル次第デアル。

コレデ、本地衣ノ產地ハ我國デ3ヶ所トナリ、朝鮮マデ擴ガツタコトニナルガ、内地高山及ビ北海道デハ本種ニ近イ *U. pennsylvanica* HOFFM. ノ方が普通デアアルコトヲ東大植物學教室ノ佐藤正己學士ガ最近ノ御研究デアル「大雪山の地衣類」ニ述ベテ居ラレル。因ニ本邦ニ稀ナ *U. pustulata* ハ歐洲ノ高山ニハ普通デアルト。

扱テ金剛山ニ於ケル生育場所ハ風當リノヨイ花崗岩ノ風化面ニ、數葉或ハ數十葉ガ僅カナ凹所ヲ求メテ叢生シテキタ。

其ノ狀ハ、ひめいはたけノ生育狀態ニ類似スルガ、いはたけガ岩石ノ垂直面ニ一枚宛着生シテキルノトハ違フ。高度ハ約1200 mデ、附近ニハまきばえいらんたいヤ *Phylliscum japonicum* ZAHLBR. ナドガ見ラレタ。

次ニ本邦ノ書ニ未ダ解剖圖ガナイ様デアルカラ圖ヲ掲ゲテ記載シテ置ク。

葉狀地衣、單葉性、濕氣ヲ帶ベルモノハ柔軟、表面暗綠色、乾燥セルモノハ硬脆、

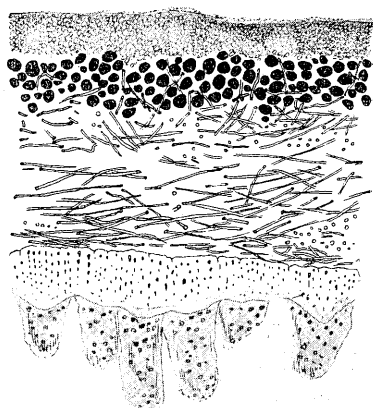


Fig. 2. *U. pustulata* HOFFM.
葉體斷面 (150 倍)

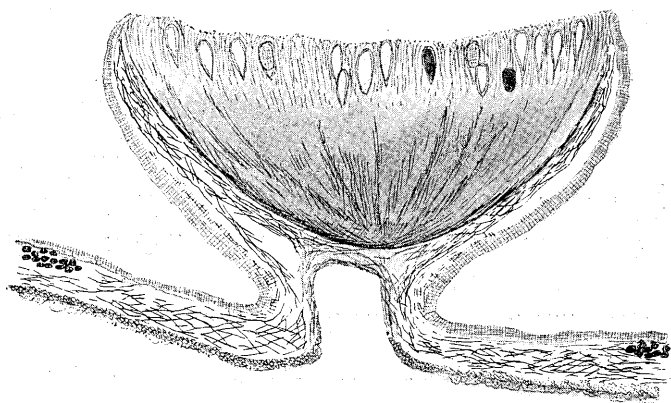


Fig. 3. *U. pustulata* HOFFM. 子器斷面 (60 倍)

暗黒色、殊ニ葉體邊緣部ハ無色ナリ。直徑 2-3 cm 内外ノモノ多ク、裏面ノ中央又ハ一方ニ偏シテ暗部ヲ有シ岩面ニ着生ス。邊緣ハ不規則ニ裂ケ、稍平滑ナルモ、葉體表面中央部ニハひきがへるノ背上ニ見ラルハガ如キ凸隆アリ。子器ハ邊緣部ニ着生、大ナルモノハ 1.5 mm、黒色、盤狀ニシテ中央部ハ僅カニ陷没シ渦卷狀ナラズ。

葉體裏面臍部附近ハ黒色トナルモ他ハ淡色ニシテヨク見レバ、ビロード狀ニ細突起アリ。又裏面ニハ表面ノ凸隆ニ對應スル陷没アリ、葉面斷面ヲ見ルニ上下ニ皮層アリ。擬柔細胞様ニシテグリセリン・アルコールヲ注加セル切片デハ

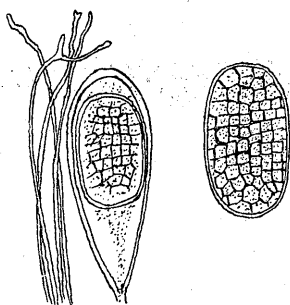


Fig. 5. *U. pustulata* HOFFM.
子嚢及絲狀體 (300倍) 及孢子 (350 倍)

上部皮層ハ約 34 μ 、下皮層約 50-68 μ 、ニシテ裏面皮層ニハ肉腫狀黃褐色ノ突起ヲ有シ、コノタメニ外觀ビロード狀ヲ呈セリ (Fig. 2)。ゴニデアハ *Pleurococcus* ニシテヨク發育スルモ

子器ヲ着生スル附近葉體ニハ存セズ (Fig. 3)。髓層菌絲ハ稍一方面ニ走ル、 K^+ (淡紅色)、 $CaCl_2$ 。子器斷面ニ就テ見レバ、子器柄ハ短ク子器ハ漏斗狀、ゴニデアヲ有セズ。外部ハ皮層ニテ覆ハルルモ、コノ皮層ハ子器縁ニハ達セズ。子嚢層、子嚢下層ハ淡黃褐色、更ニ其ノ下方ハ黃褐色ノ殻ヲ形成ス。子嚢ハ約 $86 \times 30 \mu$ 。子嚢壁ハ厚シ、子嚢内ニ 1 個ノ孢子アリ。孢子ハ石垣狀黃褐色、大サ $40-57 \times 28-31 \mu$ (Fig. 4, 5)。

產地：四國(筒城山)。臺灣(阿里山)。朝鮮(金剛山)。

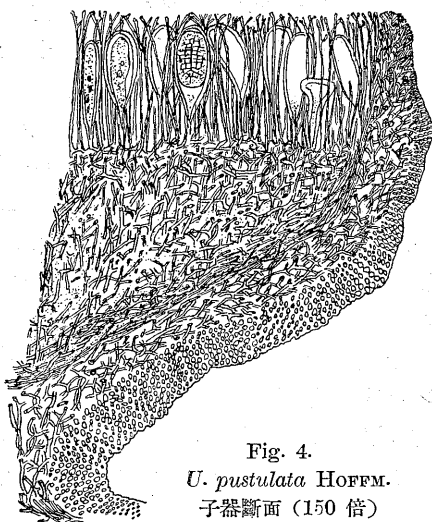


Fig. 4.
U. pustulata HOFFM.
子器斷面 (150 倍)